

### ■取付け上のお願

- 取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取付けてください。
- 化粧額縁部分は、下枠下端より70mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。その他に使用する場合は防水処理を行ってください。

### ■使用ねじ一覧表

		
皿木ねじφ3.8×45	ナパタッピングねじφ4×25	（仮止め用） スクルー釘φ2.1×25

### ■取付け順序

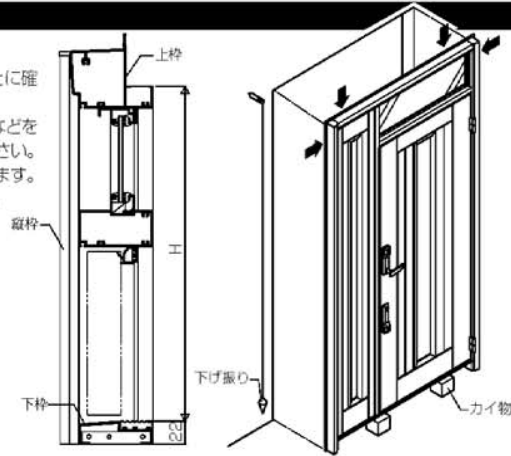
#### 1 開口部の確認

- ①開口寸法（H・W）は、下表（製品基本寸法）をもとに確認してください。
- ②下げ振りで前後・左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
- ③扉を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めします。  
◆印付部に、仮止め用の釘穴（長穴）があります。

#### ■製品基本寸法

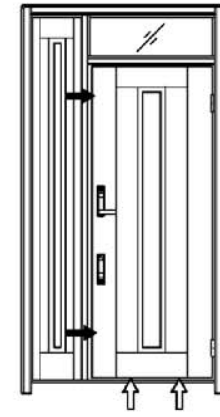
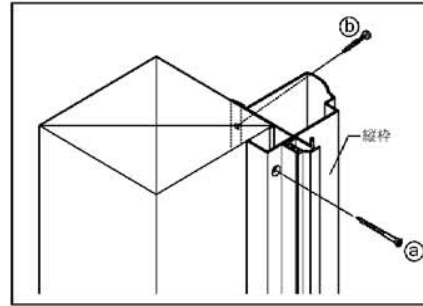
単位：mm

H	20	ランマなし	2037
	23	ランマ付き	2350
W		3R	924
		4.5R	1240
		4.5R (MM)	1320



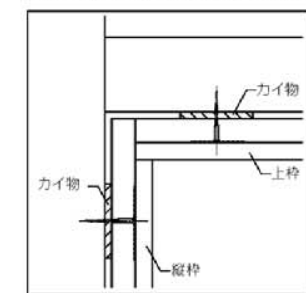
#### 2 躯体への取付けとすき間（チリ）の調整

- ①上下（△）及び、左右（●）のすき間を均等にし、戸当り気密材が扉と密着するように枠のネジレ・コロビを調整します。



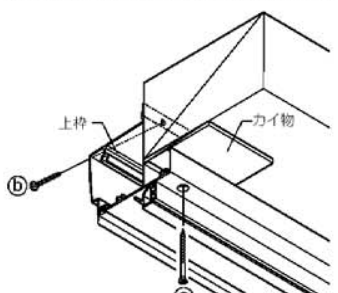
#### 3 躯体への取付け（カイ物のお願）

- 枠と躯体とのすき間には、カイ物を当てて、固定してください。
- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書はアンカーセットの中と同梱してあります。



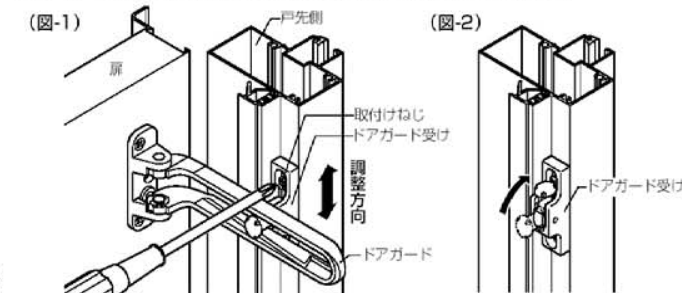
#### 4 ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



#### 5 ドアガードの調整

- ドアガードが受けに掛からない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。（本体側のドアガードは調整できません。）
- ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。（図-1）
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。（図-2）

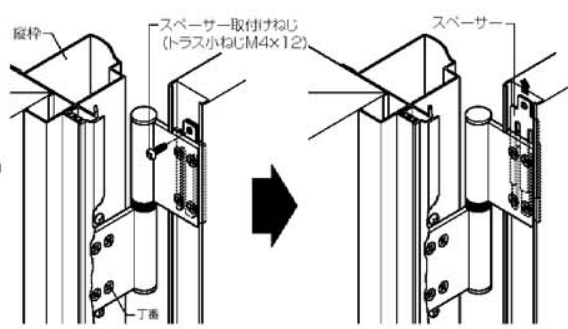


### ■建付け調整

- ※本体（又は子扉）をつり込んだ後、枠と本体（又は子扉）のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。
- すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。（納まりは右図を参考にしてください。）

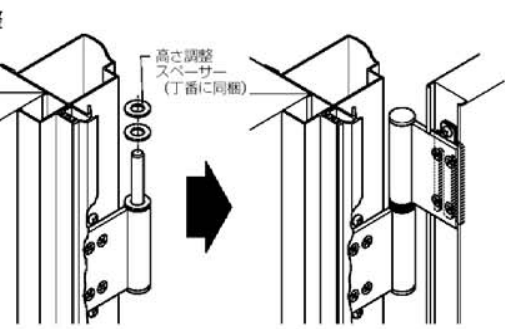
#### ■左右方向のすき間の調整

- ※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。
- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ（4本）をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm ドア本体がすり元側へ寄ります。
- ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



#### ■上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番と同梱）を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上へ上がります。



#### ■お願い

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。

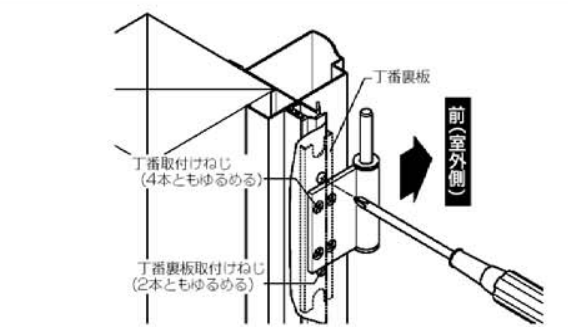
#### ■前後（室内・室外側）方向の調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

#### ■お願い

- 取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落し、丁番が取付けられなくなります。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

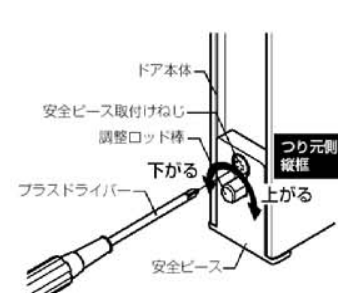


#### ■ボトムタイト気密材の調整（単体または親扉のみ）

- ドアの下に紙をはさんで閉め、紙が抜けないことを確認します。
- 【簡単に抜ける場合】… ボトムタイト気密材を下げ、下枠とのすき間を小さくします。
- 【全く抜けない場合】… ボトムタイト気密材を上げ、下枠とのすき間を大きくします。

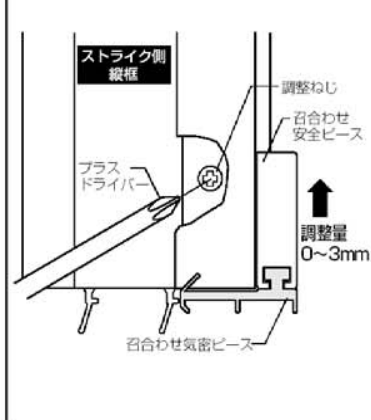
#### 【調整方法】

- ①本体の安全ピース取付けねじをプラスドライバーで外し、安全ピースを取り外します。
- ②手で調整ロッド棒を180°回します。
- ※右に回すとボトムタイト気密材が1mm上がり、左に回すと1mm下がります。
- ※必要な場合のみ、さらに180°回してください。
- ※調整ロッド棒は左に回しすぎないでください。安全ピースが取付けられなくなります。
- ③安全ピースを取付けます。



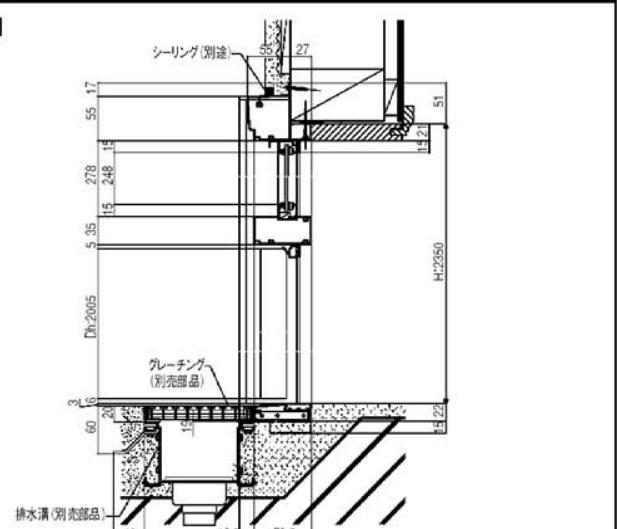
#### ■召合わせ気密ピースの調整（子扉のみ）

- 召合わせ気密ピースと下枠との当たりがきつい場合は、プラスドライバーで調整ねじをゆるめ、召合わせ安全ピースを上げてください。
- ※召合わせ気密ピースが3mmまで上げられます。



### ■参考納まり図

#### ●縦断面図



#### ●横断面図

